

ラジオのチカラ



9月6日に発生した北海道胆振東部地震による大規模停電の際に、市と災害時の放送協定を結んでいる「エフエムなよろ」は、市からの災害関連情報や商店やガソリンスタンドの営業状況など、きめ細かい情報をラジオや会員制情報サイト（SNS）で発信。災害時の情報源として大きな役割を担いました。

知りたい情報を

地震発生後、全スタッフ9人は役割分担をし、情報収集や送信所の電源確保、緊急放送にあたりました。主に市役所で情報収集をし、エアてっしのツイッターとフェイスブックで情報発信していた同社パーソナリティの高嶋修平さんは「災害時にどうしたらいいかさぐりな部分もありましたが、他のコミュニティエフエムを参考にしながら動き報元が確かか気を付けながら



株式会社エフエムなよろ
パーソナリティ
住田 千裕さん

発信しました。自分の番組のツイッターでエアてっしの投稿をシェアし、フォローしている10代〜20代の若い世代に確かな情報が届くように意識しました。

平日7時〜10時放送の「おはようてっし」などのパーソナリティを務める住田千裕さんは、電話や直接商店に向き、開店時間や在庫状況を確認しました。「市民の方が欲しいと思う情報を伝えたい」とい、詳細な在庫情報や購入の個数制限があるかなども確認しました。情報が細かくてよかったですと反応がありました。

ラジオを身近に

エアてっしは名寄市内のほぼ全域で聞くことができますが、地形や建物の構造などの影響で電波が届きにくい地域もあります。細かい情報で良かったとの声がある一方で、今回の停電時に「ラジオが聴けない。放送しているのか」との問い合わせもあったとのこと。エアてっしは2017年5月から「インターネットサイマルラジオ放送」を開始しており、パソコンやスマートフォンで、放送をどこでも聴くことができます。



株式会社エフエムなよろ
パーソナリティ
高嶋 修平さん

「インターネットでラジオを聴けることを知らない人が多いと感じました。聴けない人はSNSで情報を得ていたようで、震災後にツイッターのフォロワーやフェイスブックのいいね!の数が増えて、SNSの力を感しました」と住田さん。「これからはラジオで市民の皆さんの生活の中に溶け込んでいきたいです。番組を聴いて、メッセージをくれたら嬉しいです」。

「震災をきっかけに、ラジオに注目してもらえたと思います。普段の生活でも多くの人がラジオを聴いてもらえるように、努力していきたいです」と高嶋さん。ふたりはラジオをもっと身近な存在にしたいと意気込みを語ってくれました。

災害時にきめ細かい情報提供を行ったエアてっし。万が一に備え、一家に一台以上の

ラジオを備えておくと安心です。また、普段の番組でも、地域に密着したさまざまな情報を提供しています。今回の災害を機に、普段からラジオを聴いてみてはいかがでしょうか。

Air てっし (78.8MHz)

リクエスト・メッセージはこちら

✉ 788@nayoro.fm

開局

2006年3月27日

事業所

名寄市西13条南4丁目名寄市民文化センター
EN-RAYホール内 (☎01654⑨7000)

放送地域

名寄市のほぼ全域、インターネットサイマルラジオでも視聴可能

人気番組

ノリコのノリノリ☆NIGHT (毎週月曜22時〜)、おはようてっし (毎週月〜金曜7時〜)、人生の途中 (第2・4金曜20時〜) など

インターネットラジオ
サイマルラジオ
はこちら